

# 平成 20 年度 藤沢市市民活動推進センター 管理運営事業報告



平成 21 年 5 月

藤沢市市民活動推進センター指定管理者  
特定非営利活動法人 藤沢市市民活動推進連絡会

## 1. 事業の総括

2007年12月7日付で藤沢市から指定管理者決定通知を頂き、2008年4月1日より2013年3月31日までの5年間にわたり、「藤沢市市民活動推進センター」の指定管理者に、特定非営利活動法人 藤沢市市民活動推進連絡会が指定され、2008年4月1日より第二期の指定管理者としての管理運営が開始することになりました。

2007年度までの管理運営経験から、登録団体及び利用者数の安定が見込め、従来のセンター事業の成熟期を迎えることが予想されます。これを受け、今後5年間の長期的目標は、自立の支援の場としてのセンターを、「物理的な場」から「情報の場」へと転換し、NPOを取り巻くあらゆるセクターとのコーディネートの一環となることとします。

さらにこの目標を達成するための、年度重点目標は次の通り決めました。

2008年度：人材育成の強化

2009年度：情報の場の構築

2010年度：事業化支援強化

2011年度：連携事業推進

2012年度：新世代への転換

上記を受け、2008年度の管理運営は、センター内外の人材育成の事業を中心に展開し、重点目標「人材育成の強化」を目指しました。

第一に、既採用のボランティアを除く全ての有償スタッフの自動延長雇用を廃し、2008年度からの新規採用枠に応募する形式をとり、400字程度のテーマ指定作文と履歴書の提出を求め、理事面接により今後5年間の抱負を聞きとり、採用選考の参考としました。新規応募も11名あり、同様の選考を実施し、7名の新規採用を含む15名体制でスタートしました。2008年3月より、スタッフ研修を実施し、集合研修会3回と最低10時間の実務研修後、スタッフとしての勤務が開始されました。前年度までは、スタッフ数と予算の関係で、外部研修への参加が難しかったのですが、本年度は日本NPOセンター主催の初任者研修を始め1名1回以上参加することができました。スタッフの年齢層も10歳代から60歳代と幅広く、来館者への気配りは様々ですが、「また来館したい」と語る利用者はますます増えており、本年度の利用者数に反映されています。

次に、人材育成に関わるセンター事業の充実を図り、新規事業として、活動の開始を希望する市民のための「NPO交流サロン」の開催、新聞紙上で交わされている社会貢献活動に関する情報をテーマに沿って解説する「コラム：新たに聞く市民活動」と、過去の相談事例から、比較的質問の多かったNPOに関する言葉や事例を解説する「コラム：なぜなにNPO」の開始、市民活動に関する相談を受けられるための常設の相談室の設置の三事業に加え、調査研究の対象として「高校生」に焦点を当て、ボランティアに対する意識調査を実施し、報告書にまとめました。今後の若年層へのアプローチの参考とする予定です。

年間を通じて人材育成をキーワードに事業を進めてまいりましたが、内外共に十分な成果が表れたとは言えません。NPOにおける人材の確保は重要で、人材育成の取り組みを今後も続けてまいります。

センターの場としての利用状況については、2008年度全体で8810件33471人の利用があり、2007年度と比べ、利用件数、利用人数共に10.29%増となっています。又、1日平均利用件数28.7件、利用人数109.1人となり、昨年度に比べ、それぞれ増加し、2001年の開館以来最高の数字となりました。昨年度危惧していた利用人数の限界にはもう少し余裕があったと思われます。しかしながら、一方では、何時も混んでいるイメージが定着しつつあり、利用者の足の運びを重くしている現実や、比較的利用に負荷のかかるしょうがい者等の方へのスタッフの配慮が不足気味になることが考えられます。このような状況を踏まえ、第二・第三の活動センター構想や、既存の使用可能な施設利用の推進は必要と考えることができます。登録団体数の、年度内最高数は9月末の450団体ですが、団体側の登録更新処理の不備や団体解散による抹消処理を行い、年間新規登録団体は、昨年度と同程度(59団体)あったものの、2008年3月末日現在の登録団体数は404団体となっています。数字の上で、登録団体が減少したことは残念ではありますが、年間活動の情報を報告ができる形にまとめ、団体の活動状況を市民へ向けて情報提供することが市民活動団体の自立に向けての一步であることを考えると、登録団体の質の向上が進み、市民が登録団体の活動に信頼感を持つ一つの目安になると捉え、今後もこの方針を続けていく所存です。登録団体の推移と内容は、資料に詳細を記します。

次に、研修講座・交流会・相談会等の開催等実施事業について報告します。

研修講座の本年度の特徴は、活動団体のリーダーとなる市民力のアップを図ったことです。これまで、講座研修受講者に団体内部での役割について制限を設けることは無かったのですが、本年度より、リーダー研修では、理事や役員等、報告書の作成では、実務担当者などと制限を設けました。結果として、リーダー研修は継続的な研修となり、実務担当者研修では、様々な活動団体の実務の現状を把握することができ、活動相談事業へと発展をしました。又、従前より実施してきた講座について、参加者への効果を計るため、満足度・理解度・お役立ち度を、5点を満点として点数を付けて頂きました。年間開催講座平均得点は、満足度4.43点、理解度4.07点、お役立ち度4.34点といずれも4点台を越えています。(詳細別途)しかしながら、参加者の確保に苦慮している講座も少なくはありません。更なる告知の工夫が求められ、今後の課題と捉えています。

交流会は例年のとおり、センターの開館記念日に合わせて開催し、クリスマス交流会としました。海老根新市長をゲストに迎え、88名の参加となりました。昨年度に引き続き、新聞社の方々との名刺交換会は参加者から好評で、次年度以降もできるだけ多くの異業種の皆様との交流の機会として開催を予定しています。新規事業である「NPO交流サロン」は、センターのサポートクラブである「ふじさわ団塊塾」のメンバーの協力の下、3月7日に開催し、登録団体の中から、地域の景観を考える活動をしている2団体をゲストに迎え、活動状況の発表後、質疑応答が活発に行われ、今後のサロン開催につなぐことができました。

相談事業は、センター内で通年随時行ってきました。昨年度末より、相談受付対応者の体制を一部整え、固定相談日を設けプレオープンし、4月から本格開催となりました。しかしながら、土曜日みの固定相談日では、相談者の増加には届かず、依然として電話対応や予約によるスタッフ対応相談が多いため、次年度以降、センタースタッフの相談体制強化を図り、週3日の相談室常設を図ります。又、新しい相談の場として、従前より行っていた、県立高等学校との連携の中から、藤沢高等学校内での出張ボランティア相談会を年間9回開催しました。これは、高校側の特別の配慮と、センター側

の市民活動への人材確保に向けての取り組みがマッチングした特殊な事例として特筆すべき事業と考えています。「待つ」姿勢から「向かう」姿勢へと形を変えたこの事業は、ボランティアへの意識を啓発し、具体的な活動体験へと向かう大きな一歩となりました。今後も、受け入れ先を積極的に開拓し、事情が許す限り、出張相談室を開催していきたいと考えます。

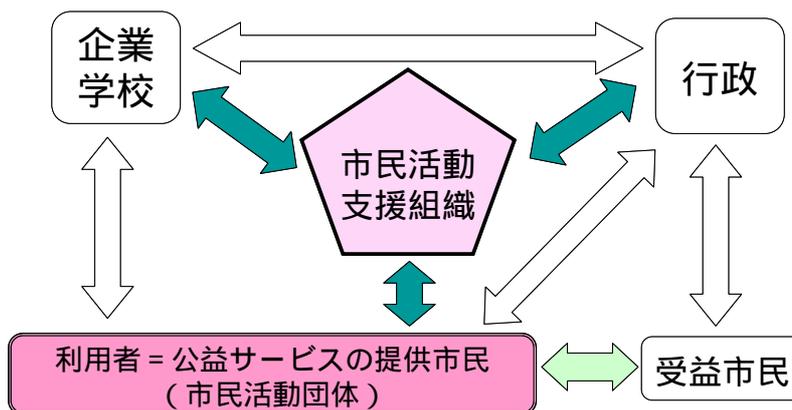
11月に県立深沢高等学校の体育館で開催された、NPO見本市では、市内の市民活動サポート施設であるふじさわボランティアセンターと藤沢市青少年協会のご協力を頂き、開催いたしました。今回は、参加した高校1年生201名を対象にアンケート調査を実施し、前述の「ボランティア意識調査報告書」をまとめました。今回の調査は、これからの社会を担うであろう若年層の社会貢献に対する意識動向を把握し、社会貢献活動の支援の方向性を考える材料として大変有意義な調査となりました。（別途報告書添付）

活動イベント情報誌「情報クリップ」はフォーマットを一新し、活動団体のイベント、研修講座、募集の情報に加え、助成金情報の発信強化を図り、新聞紙上で交わされている社会貢献活動に関する情報をテーマに沿って解説する「新たに聞く市民活動」の掲載を開始しました。又、館内情報誌「ニューズレター」のコラムも新たに「なぜなにNPO」と題し、過去の相談事例から、比較的質問の多かったNPOに関する言葉や事例を解説しています。発行数は、両紙共、登録団体を始め、市内公共施設、県内外NPO支援施設、市内に事務所を持つ未登録NPO法人、センターのサポーターへの送付を含め1900部となっています。

最後に、昨年、当法人では、推進センターの管理運営に指定管理者として関わりを持つことが法人としての使命を全うすることなのかどうか慎重な議論を重ねた上で、2008年度以降の指定管理者として応募し、2013年3月までの5年間の管理運営に携わることに成った経緯があります。

これは、委託期（2001年度～2005年度）の最終報告に記載した、「単なる市民活動を支援・推進する場としてのみでなく、縦割り行政等による現状の制度や社会システムでは対応しきれない課題について市民活動を通じて解決する場、つまり社会の横系（コーディネーター）としての役割を担う場にしたい」という次期に向けての構想を未だ全うできなかったことによるものです。新たに2013年3月を最終の目標地点と捉え、藤沢市民に公益的なサービスを提供する市民活動団体の自立の支援に力を注ぐことを約束し、2008年度の事業終了報告書とします。

参考：NPO中間支援組織の位置づけ（支援組織を中心に考えた場合）



## 2. 業務の報告( は業務仕様書に掲載されている内容を記す)

### ( 1 ) 管理運営業務

センターの使用の許可及びその取り消し等に関する業務

利用料金の徴収及び減免、返還に関する業務

センターの施設及び設備の維持管理に関する業務

#### ア. 施設管理

期間 2008年4月1日～2009年3月31日(307日 3991時間)

場所 藤沢市市民活動推進センター

対象 施設利用者 年間延利用者数：33471人(対前年10.29%増)

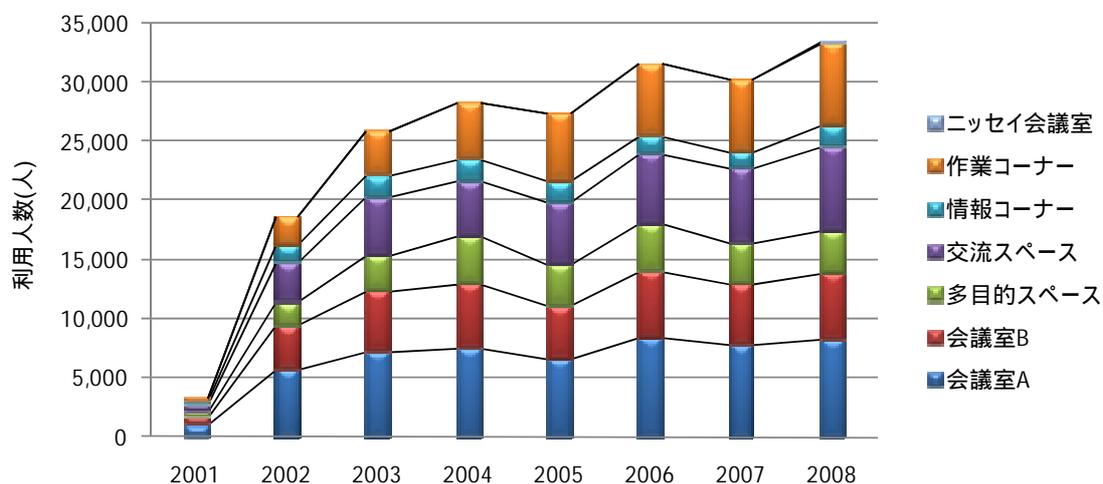
1日利用平均人数：109.0人

年間利用件数：8810件(対前年10.29%増)

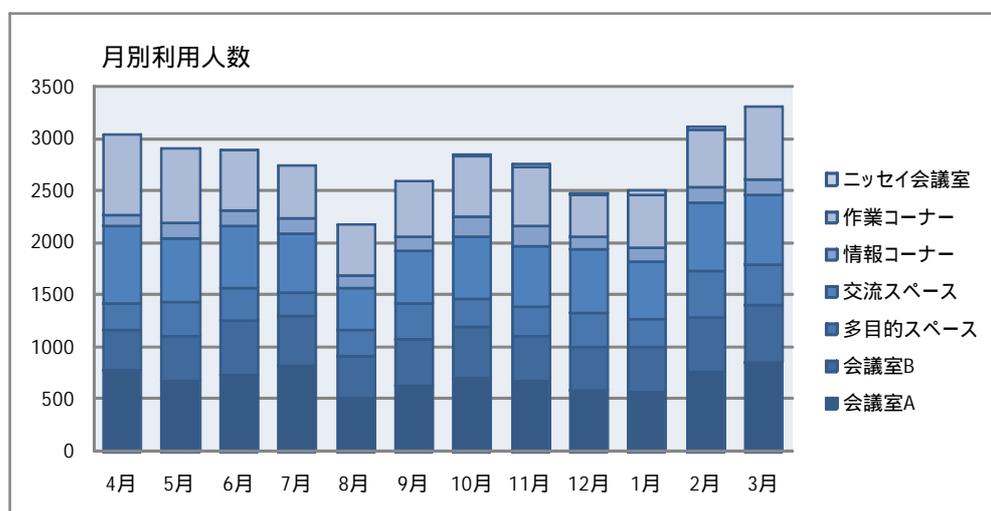
1日利用平均件数：28.7件

内容 藤沢市市民活動推進センター内市民利用スペースの管理業務

利用人数の推移



昨年度減少傾向にあった利用者数は、本年度1割程度増加した。例年みられる年度末から5月頃にかけての利用のピークは変わることはないものの、その他の時期の利用が平均的になり、継続的な活動による利用が進んできたように思われる。



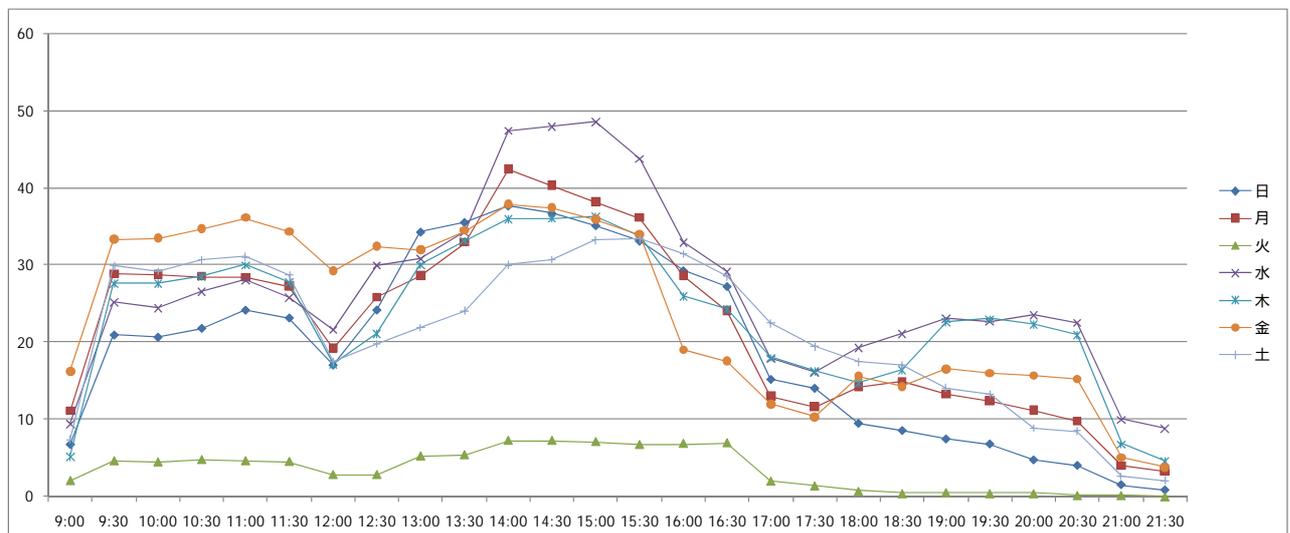
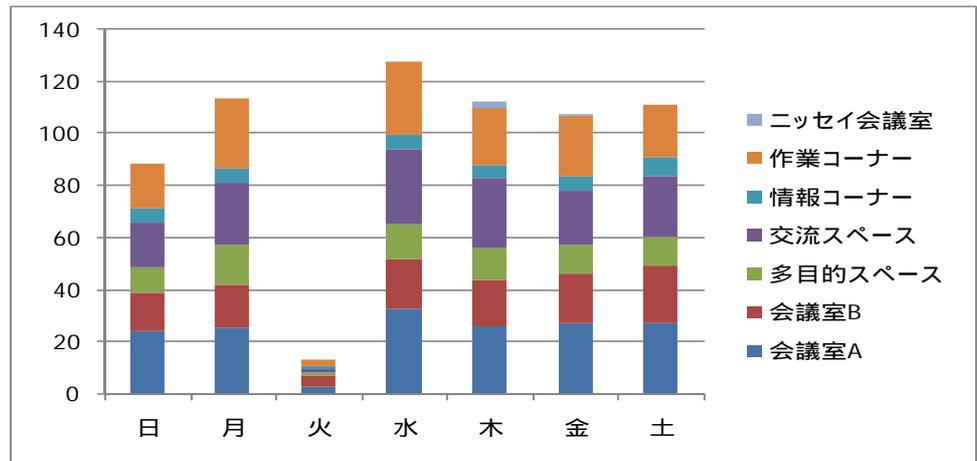


上記のグラフは、1日の平均利用人数を表しているが、会議室とその他のスペースの利用はほぼ半分である。12時30分に見られる不規則な動きは、会議室利用後、オープンスペースでの昼食と考えられる。飲食の制限がないことによる利用の促進効果の表れといえよう。

次に、曜日毎の利用状況(下記グラフ)をみると、国民の祝日を開館日にした場合の火曜日は開館していることが分かりにくく火曜日の1日利用平均人数は通常の15%程度にとどまることが判る。日曜日の利用は例年の通り、他開館日の利用者数の80%程度となった。更に時間帯を重ねると、日曜日は、18:00以降他の曜日に見られる利用者数の塊はない。火曜日の開館と日曜日の18:00以降の開館は検討の余地があると思われる。

曜日別利用者数  
(平均)

曜日×時間  
平均利用者数



イ．会議室・作業機材等の予約受付、貸出業務

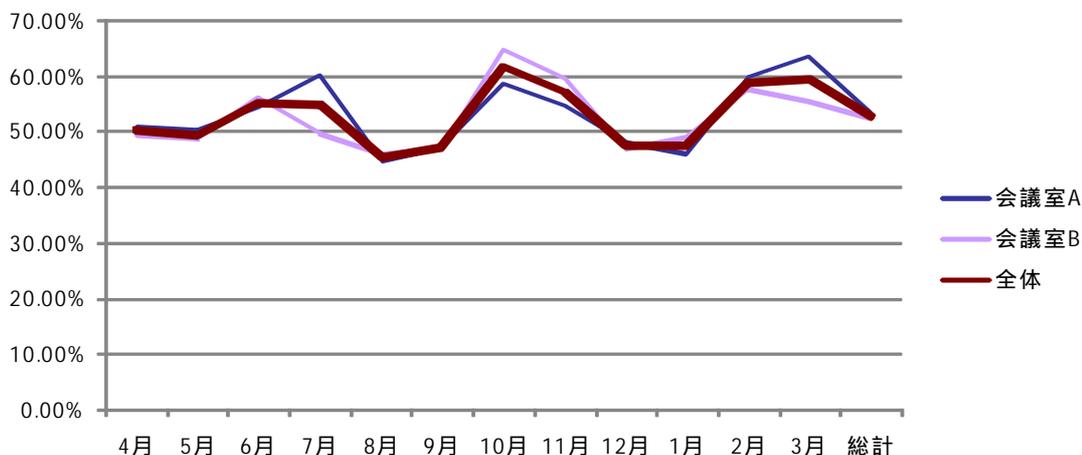
利用状況

会議室（大） 利用件数：641件（前年比 106.13%）  
 利用人数：8316人（前年比 105.21%）  
 利用率：53.26%（対前年 6.46ポイント増）

会議室（小） 利用件数：662件（前年比 101.97%）  
 利用人数：5533人（前年比 110.93%）  
 利用率：52.49%（対前年 6.49ポイント増）

ニッセイセミナールーム（2008年10月利用開始）  
 利用件数：8件 利用人数：116人

以下の、時間帯別と月別の平均利用率を見ると、午後の時間は8割、午前6割、夜間5割の利用がある。又、一つの会議室あたりの1日平均利用件数は、2件以上となっており、1時間を基本単位に貸し出しを行っていることを勘案すると、午後の時間帯は概ね満杯の状態が想像できる。そのため、センター外の会議室として、ライフプラザ湘南（日本生命保険相互会社）のご協力を頂き、10月より利用が開始された。週1回程度の貸出ではあるが、利用団体が増え、今後に期待が持てる。



## 2008 年度会議室月別利用件数

利用件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
会議室A	54	53	53	60	47	54	58	57	46	45	53	61	641
会議室B	49	49	57	56	51	50	67	59	52	52	59	61	662
ニッセイ会議室	0	0	0	0	0	0	1	2	1	1	3	0	8
合計	103	102	110	116	98	104	126	118	99	98	103	122	1311
開館日数	25	27	26	26	27	25	27	26	24	24	24	26	307
一日平均	4.12	3.778	4.231	4.462	3.63	4.16	4.667	4.538	4.125	4.083	4.292	4.692	4.27

### ウ．センターの設備の貸出及び維持管理業務

#### ロッカー

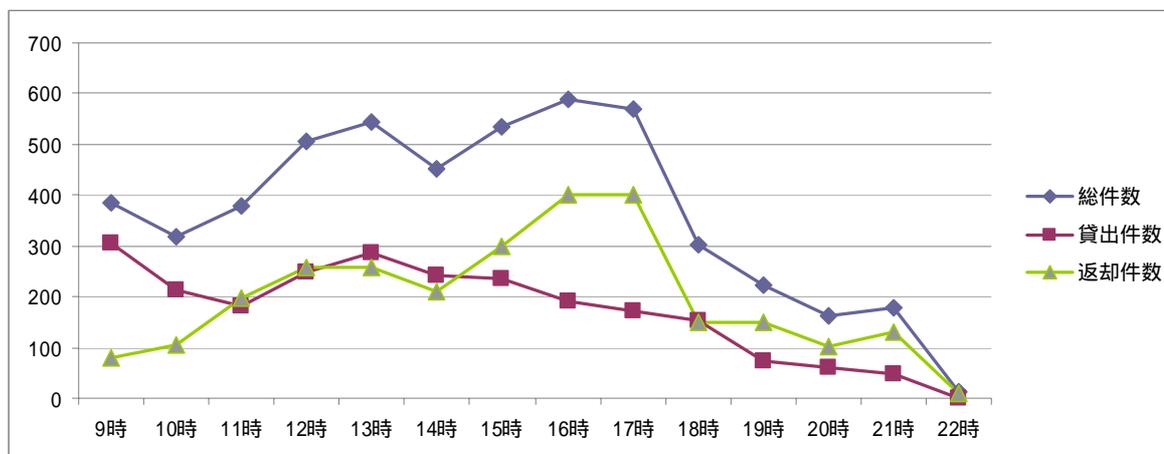
ロッカー（大） 設置数：18ヶ 利用数：18ヶ

ロッカー（小） 設置数：63ヶ 利用数：63ヶ

ロッカーの鍵の貸出及び返却回数 貸出 2604回 返却 2603回（団体紛失1件）

（ロッカーの鍵の保管は原則として団体管理としているが、団体構成員全員分の合鍵を作製された経緯と昨年度3件の紛失経験の中から、希望される団体について、センターのキーボックスに預かり、請求の都度貸出票に記名し、スタッフの認印の上貸出し、返却の際も認印作業を行っている。）

年間を通じた鍵の貸出・返却時間帯別の件数は以下の通り。



#### レターケース

設置数：150 利用数：150

郵便物取次件数 401件

簡易印刷機（リース機 2台 団体提供機 1台）

利用件数：3794件

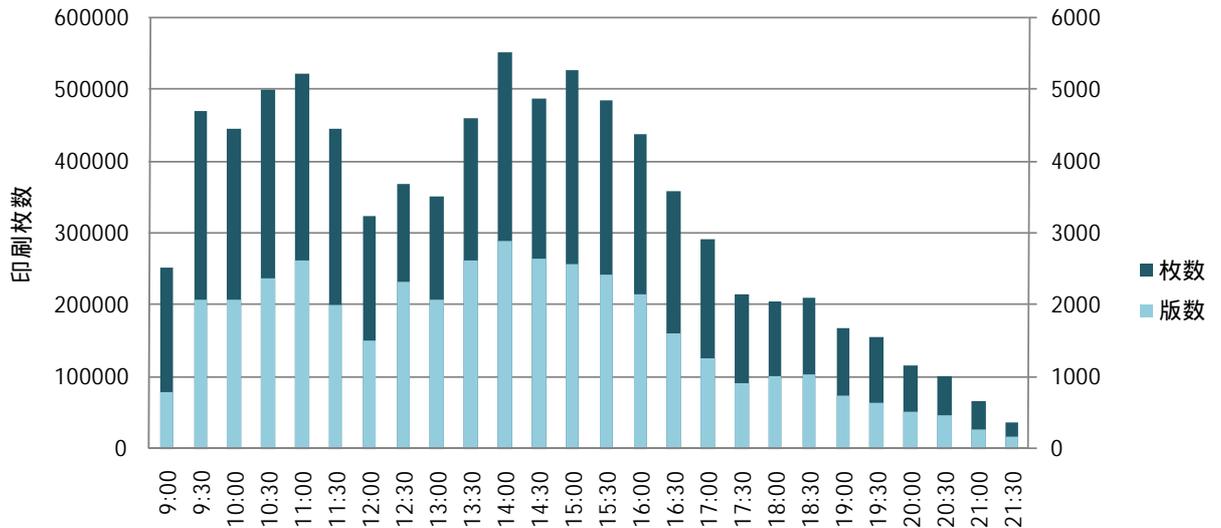
版下枚数：12280枚

印刷枚数：2367674枚（利用者報告枚数）

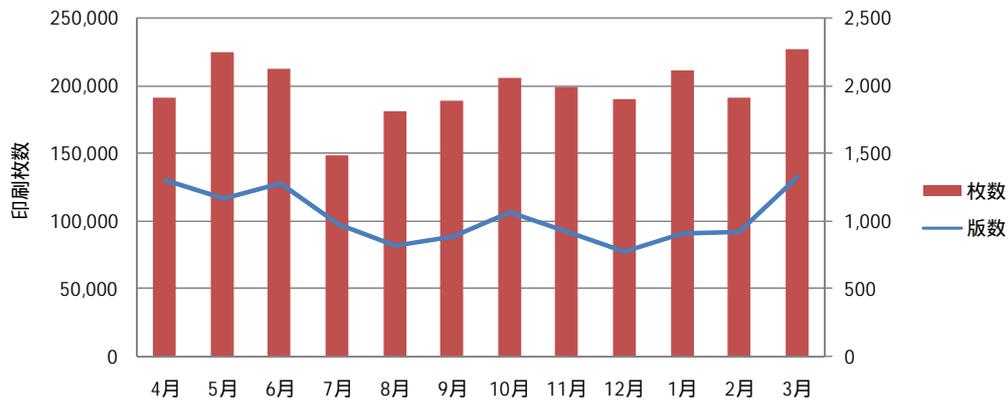


印刷機は、2色までは同時に印刷可能なダブルドラム機（写真上）を含め、3台が稼働し、印刷インクは、黒・青・赤の3色準備している。開館307日のうち306日利用されており、需要の高さは印刷枚数の多さとともに充分に理解できる。（稼働率：99.67%）又、製版一回につき平均200枚程度の印刷であるが、1万枚を超える作業も年間10件を数えた。

時間帯別印刷利用状況



月別印刷機利用状況



コピー機 (カラー対応機 1台 白黒対応機 1台)  
 コピー枚数 1605件 51703枚 (利用者報告枚数)  
 紙折り機 638件 裁断機 487件 帳合機 (写真右) 181件

(2) 情報関連業務

市民活動に関する情報の收拾及び提供に関する業務

ア. 館内情報紙ニュースレターの発行

発行頻度 月1回 (2008年4月~2009年3月、計12回発行)  
 発行部数 約1900部/回  
 配布先 登録団体、利用団体、サポートクラブメンバー、  
 市内公共施設、国内NPO支援センター他

イ. 市民活動団体情報紙情報クリップの発行

発行頻度 月1回 (2008年4月~2009年3月、計12回発行)  
 発行部数 約1900部/回  
 配布先 登録団体、利用団体、サポートクラブメンバー、  
 市内公共施設、国内NPO支援センター他



ウ．ホームページの作成・管理

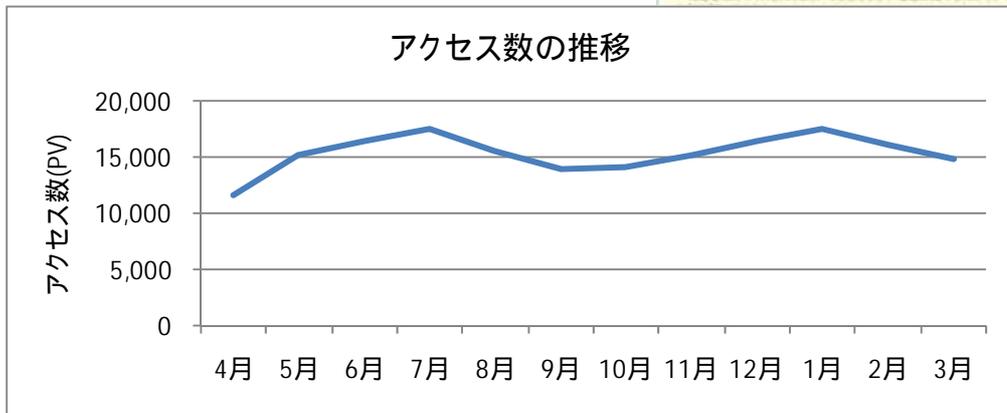
2008年5月より、コンテンツの整理とホームページのアップグレードを開始し、6月9日には、センターのHPアドレスを変更し、6月末にはほぼ完了した。予約状況や情報ボックスへの情報提供がスムーズに行われるようになり、アクセス数がアップした。

更新頻度 週2~3回 707件

センター情報 108件 団体イベント情報 192件 団体登録情報 407件  
 スタッフブログ 22件

アクセス数 2008年4月1日~2009年3月31日

185,047PV (1日平均：493.28PV) 前年比 141.6%



エ．メールマガジンの編集・発信

発信頻度 原則2週間に1回 年間25回発行

No.115(2008年04月05日)~No.139(2009年03月23日)

発信先数 771件(2009年3月23日現在)

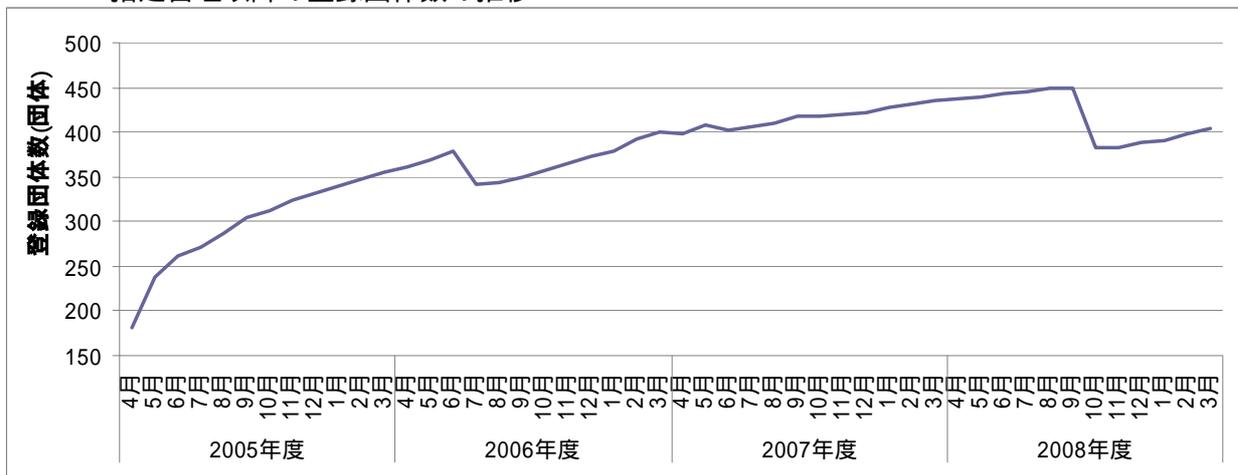
発信対象 メールマガジン講読申込み者(ホームページ上から講読申込み可能)

オ．市民活動データベースの作成

登録団体・個人のデータベースの作成・管理

登録団体：404団体 利用団体：49団体 サポーター：44名

指定管理以降の登録団体数の推移



団体別利用状況データの作成・管理（センター利用状況に関するデータ）

各コーナー利用状況、ロッカー利用状況、会議室予約データ

カ．持ち込み情報の収集と提供及びデータ管理

収集情報数 1790 件（前年比 257 件増、116.8%）

持込形態 来館：449 件 郵便：1183 件 FAX：14 件 メール：53 件

スタッフ持込：91 件

情報提供数 3245 件（重複掲載あり）

（市民センター・タウンニュース除く 前年比 840 件増、134.93%）

提供形態 情報ラック 964 件（前年比 109.42%）

掲示板 530 件（前年比 138.74%）

ファイリング 959 件 ファイル数：272 冊

情報クリップ 285 件(月平均 12.5 件)（前年比 190.00%）

メールマガジン 401 件（前年比 192.79%）

HP（情報 BOX）106 件

市民活動情報コーナー配架

市内市民センター・公民館

17 件×6 回×16 箇所計 1632 件

タウンニュース掲載

団体紹介 20 件

センター情報 24 件



市民活動コーナー  
（各市民センター内）



キ．市外市民活動団体・機関が発行する情報紙等及び支援情報の収集・管理

掲示板（団体情報コーナー、助成金情報コーナー、センター情報コーナー）

配架ラック 8 台（団体情報ラック 4、平台 1、閲覧専用 4、助成金専用平台 1）

情報専用平台 2 台（持ち込み情報 1、助成金 1）

団体発信情報バックナンバー）ファイル数：272 冊

市外中間支援機関情報の収集（交流機関数 320 団体）

ク．市民活動に関する図書、研究誌等の収集、管理及び貸出

図書・研究誌等蔵書数 1414 冊（2008 年度登録数 94 冊定期購読誌含）

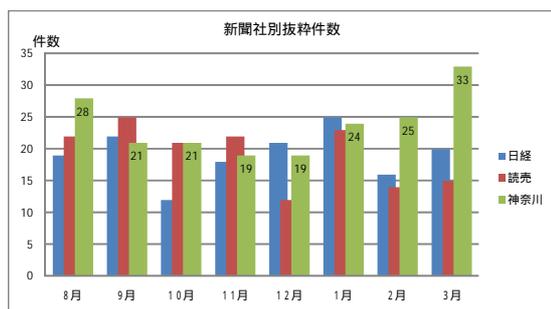
提供場所 館内情報コーナー内（書籍棚）

提供方法 閲覧及び貸出（貸出可能図書数：616 冊）

貸出登録者数 92 人（平成 20 年 3 月末現在延べ人数）

貸出実績 18 冊

新聞市民活動関連記事ピックアップ（2008 年 8 月～2009 年 3 月）



定期購読

日本経済新聞・読売新聞・神奈川新聞  
記事の切り抜き数

497 件（1 ヶ月平均 62.125 件）

(3) 学習機会及び市民活動団体交流機会の提供業務

ア. 市民活動に関する学習機会の開催

『NPO と法人制度』～ゼロから学ぶ入門編～

日時：2008年5月31日(土) 18:00～20:00

場所：藤沢市市民活動推進センター会議室

講師：椎野修平氏(前・かながわ県民サポートセンターボランティア活動推進担当部長)

参加者数：20名 参加費：500円

『はじめの一步講座』

日時：2008年6月14日(土) 14:00～16:00

場所：藤沢市市民活動推進センター 会議室 A

講師：手塚明美

参加者：10名 参加費：500円

『松本修一先生の NPO リーダー研修』～組織のマネジメント 目標・戦略・評価～

日時：2008年7月5日(土) 10:00～16:45

場所：藤沢市市民活動推進センター 会議室 A

講師：松本修一氏(V マネジメント代表)

参加人数：19名

参加費：1,000円/名(交流会含む)

『パソコン連続講座』

日時・内容

2008年8月24日(日) 14:00～16:00 パソコン活用法・今回の各講習内容を紹介

2008年9月23日(祝) 14:00～16:00 WORD を使ってチラシポスターを作ろう

2008年10月19日(日) 14:00～16:00 Excel を使って会員名簿を作ろう

2008年11月9日(日) 14:00～16:00 インターネットを上手に使う

2008年12月7日(日) 14:00～16:00 WEB ページとブログ

場所：藤沢市市民活動推進センター会議室

講師：センターITサポートクラブ

参加者数：延べ46名

参加費：500円



アンケートによる参加者評価

		参加者数	満足度	点数×参加人数	理解度	点数×参加人数	お役立ち度	点数×参加人数
1回	基本操作	6	4.58	27.48	3.35	20.1	3.85	23.1
2回	ワード操作	16	3.37	53.92	3.3	52.8	4.43	70.88
3回	エクセル操作	13	3.2	41.6	2.95	38.35	3.7	48.1
4回	インターネット	5	4.25	21.25	3.75	18.75	4.2	21
5回	メールとブログ	6	3.83	22.98	3.1	18.6	4	24
		46		167.23		148.6		187.08
	平均得点			3.64		3.23		4.07

知っ得講座 1 『助成制度を知る！』～日本財団チームによる“資金マネジメント”～

日時：2008年10月6日(月) 18:30～21:30

場所：藤沢市市民活動推進センター会議室

講師：荻上 健太郎氏

(日本財団経営企画グループ

情報コミュニケーションチーム)

参加費：500円(資料代)

参加人数 16名



知っ得講座 2 『ボランティアを知る！』

日時：2008年11月1日(月) 18:30～21:30

場所：藤沢市市民活動推進センター会議室

講師：市民活動推進センター副センター長 河原寛子

参加費：500円(資料代) 参加人数 1名



知っ得講座 3 『セルフケアを知る！』

日時：2008年11月8日(月) 14:00～16:00

場所：藤沢市市民活動推進センター会議室

講師：特定非営利活動法人日本リラクゼーションセラピスト協会 会員

参加費：500円(資料代) 参加人数：5名



『NPOと法人制度』～ゼロから学ぶ入門編～

日時：2009年1月31日(土) 14:00～16:00

場所：藤沢市市民活動推進センター 会議室 A

講師：椎野修平氏(前・かながわ県民サポート  
センターボランティア活動推進担当部長)

参加費 500円 参加人数 22名

『報告書作成講座』～事業報告と会計報告～

日時：2009年2月21日(土) 18:30～20:30

場所：藤沢市市民活動推進センター 会議室 A

講師：手塚 明美

参加費：500円

参加人数：14名



『松本修一先生のNPOリーダー研修』～フォローアップ～

日時：2009年2月21日(土) 13:00～17:00

場所：藤沢市市民活動推進センター 会議室 A

講師：松本修一氏(V マネジメント代表)

参加人数：9名



『NPOのための協働講座』

～NPO発～ 戦略としての協働

日時：2009年2月28日(土) 18:30～20:30

場所：藤沢市市民活動推進センター 会議室 A

講師：粉川 一郎氏 (武蔵大学社会学部准教授)

参加費：500円

参加人数：21名



参加者への効果を計るため、満足度・理解度・お役立ち度を、5点を満点として点数を付けて頂いた。年間開催講座平均得点は、いずれも4点台を越えた。しかしながら、参加者の確保に苦慮している講座もあり、更なる工夫が求められ、今後の課題と捉えている。

参考：アンケート(点数部分)集計表

	参加者数	満足度	点数×参加人数	理解度	点数×参加人数	お役立ち度	点数×参加人数
NPOと法人制度	20	4.59	91.8	4.13	82.6	4.36	87.2
はじめの一步講座	10	3.83	38.3	3.43	34.3	3.6	36
NPOリーダー研修	19	4.59	87.21	3.97	75.43	4.71	89.49
助成金制度を知る	16	4.71	75.36	4.43	70.88	4.86	77.76
ボランティアを知る	1	5	5	4	4	5	5
セルフケアを知る	5	4.25	21.25	4.25	21.25	4.5	22.5
NPOと法人制度	22	4.26	93.72	3.87	85.14	3.85	84.7
報告書作成講座	14	4.12	57.68	3.73	52.22	4.19	58.66
NPOのための協働講座	21	4.59	96.39	4.5	94.5	4.47	93.87
	128		566.71		520.32		555.18
年間開催講座平均得点			4.43		4.07		4.34

イ．市民活動団体の交流機会の開催

推進センターのクリスマス2008

日時：2008年12月13日(土) 16:00～18:30

場所：藤沢市市民活動推進センター フリースペース

参加費：500円

参加人数：88名

ゲスト参加者：藤沢市長、松本修一氏、

タウンニュース編集長 小島忠宏氏

東京新聞記者 神奈川新聞記者

話題提供者：椎野修平氏(手話通訳協力 堤幸子氏)



NPO 交流サロン～地域の景観を考える～

日時：2009年3月7日(土) 14:00～16:00

ゲスト：江の島みちルネッサンス推進会議・鵜沼の緑と景観を守る会

会場：藤沢市市民活動推進センター 多目的スペース(2スペースを結合)

参加費：無料

参加人数：26名

協力：ふじさわ団塊塾

(藤沢市市民活動推進センターサポートクラブ)

参加者からの評価(5点満点で評価、未記入は除外)

参加されていたかがでしたか(満足度)4.31点

発表者からの評価(5点満点で評価、未記入は除外)

参加されていたかがでしたか(満足度)4.41点

NPO 交流サロンは活動に役立ちますか(お役立度)4.5点



(4) 各種相談及び人材の育成に関する業務

市民活動に関する相談に関する業務

市民活動に関する人材の育成及び交流に関する業務

ア. 相談会の実施

団体設立・法人格取得等に係わる相談・活動推進に係わる各種相談の実施

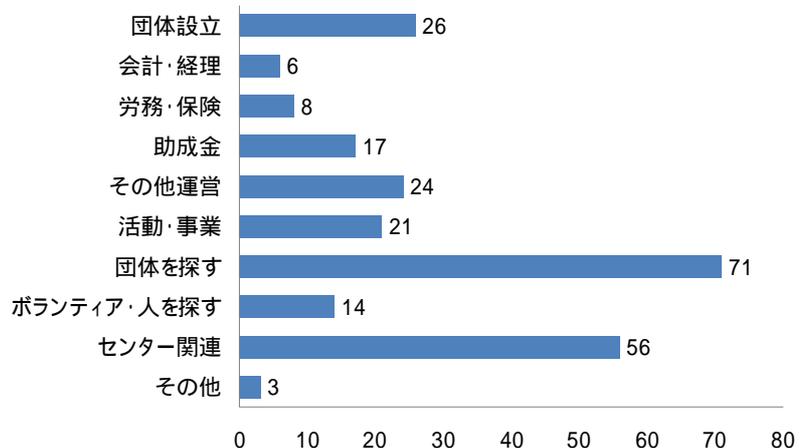
・ センター職員対応

・ 246件

(来館 175件

電話のみ 71件)

継続的な相談は、  
回数にかかわらず  
1件で集計



専門相談員対応相談

会計相談 税理士 荻野雅也 7件

労務相談 社会保険労務士 渡辺幸夫 2件

手続相談 行政書士 竹内久治 2件

IT相談 サポートクラブ ITサポート(サポーター9名)104件(研修会後対応含む)

シニアのためのNPO 活動相談室(担当:ふじさわ団塊塾)

2008年4月~2008年6月 土曜日 14:00~16:00 相談件数 7件

イ. サポートクラブ

登録人数 アドバイザー(個人): 11名(団体): 1団体

サポーター: 43名

(市民活動コーナー配架サポーター11名含)



ウ. サポートクラブの活動

ITサポートチーム(登録9名)

月例会(11回) IT相談(16件)・IT講習会(2回)

貸出PCのメンテナンス(59回)

各種IT講習会の企画協力



ワークサポートチーム（登録7名に加え、湘南工科大学社会貢献活動の受入が6名）  
（社会貢献活動とは、1名50時間までの体験授業）

センター内における印刷用紙・事務消耗品・茶菓子の頒布・館内管理補助 等

ワークサポート数 館内 203回

ふじさわ団塊塾（登録12名）

ふじさわ市民まつりセンターブース管理

（2008年9月27日10:00～17:00）

協力団体：テント内 9団体

テント外 3団体

その他センター主催事業協力（相談室・交流会ほか）

市民活動コーナー運営サポートチーム（登録11名）

2009年3月13日（金）ミーティング

（作業の方法・資料の手渡）



#### エ．他支援センター交流・かながわNPO相談ネットワークとの連携

定期的に情報紙の交換を行っている各地の市民活動支援機関 320ヶ所

かながわ県民活動サポートセンター主催研修会

ボランティア活動支援施設セミナー2008

2008年7月16日、7月31日、8月1日（職員1名参加）

CEO会議 2009年3月26日（木）県民活動サポートセンター

日本NPOセンター主催「NPOと行政の対話フォーラム'09」特別プログラム

協力：NPO支援センター『見学ツアー：藤沢編』

日時：2009年2月26日（木）15:00～16:00 来訪者：6名

他支援センター等視察受け入れ

東京都福生市、前橋市市民活動支援センター、ふじさわボランティアセンター、佐倉市男女平等参画推進センター・ミウズ、かわさき市民活動センター、横須賀市役所、静岡県西部地域交流プラザパレット、ふじのくにNPO活動センターパレット

#### オ．ボランティア体験！2008（県教育委員会発行のボランティアパスポートに対応）

実施期間 2008年5月1日～2009年2月28日

受け入れ団体説明会 2008年4月7日（月） 18:00～19:00

体験者オリエンテーション 2008年7月18日（金）

報告・交流会 2008年8月23日（土）

参加数 ボランティア体験者数 117名

ボランティア受入団体 32団体

ボランティア体験件数 224件



センターボランティアの高校生

#### カ．NPO見本市 in 深沢高校

日時 2008年11月13日（木）13:35～15:25

会場 神奈川県立深沢高等学校 体育館

対象 深沢高校1年生

（201人 内藤沢市民101名藤沢駅利用者23名）

内容 団体紹介DVD上映/参加13団体による見本市



(5) 調査研究業務

市民活動に関する調査及び研究に関する業務  
センター利用に関するアンケート業務

ア. 調査研究と報告書の作成

名称 「高校生のボランティア意識調査」

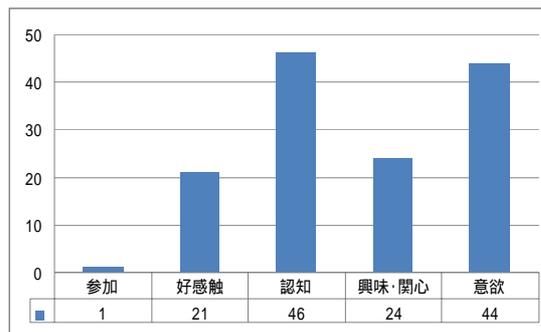
実施日 2008年11月13日(木)

NPO 見本市実施後、各教室にて記入

対象 神奈川県立深沢高等学校1学年 201名 回収率 136名(67.7%)

ボランティアという言葉が現在の高校生はどのように理解し、今後の進路も含めて将来に向けてかかわりを持ちたいと考えるかどうか、実際の活動をコンパクトに紹介し、少しの実体験を積んだ後、アンケートをとり、その結果を纏めた。

- 1: 参加した
- 2: 好感触(よかった・楽しかった等)
- 3: 認知(知った・解った等)
- 4: 興味・関心(もっと知りたい・これからも関わっていきたい等)
- 5: 参加意欲(積極的にかかわりを持ちたい・参加してみたい等)



イ. 利用者の意見の集約

対象データ: 利用表 8810件 書込意見数: 132件

施設関係: 41件 設備関係: 11件 事業関係: 5件 お礼: 72件 その他: 3件

意見の抜粋

事業に関する意見

- ・大変貴重な情報やアドバイスをいただき、ありがとうございます。
- ・ニュースレターは大変役に立っています。
- ・活動する上で十分な情報を得ることができた。

設備に関する意見

- ・PCを使えることに感謝
- ・印刷機のご指導大助かりでした。
- ・パソコンが随分改革されましたネ、まるで図書館のような使い心地(笑)

施設に関する意見(41件)

- ・BGMなど流してみたらいかがでしょう(昼休みの時間など)
- ・市民活動の別のグループの方と久々に会って話が咲き長居しました。
- ・この場所があって・良かったーとホント思いました。
- ・活気があって良いと思いました。
- ・どういった施設か見たことがなかったので見学にきました。(同様2件)

意見の反映

- ・印刷機等機材のサポートは今後も積極的に行ってまいります。
- ・公開用PCのメンテナンスはサポーターを起用し、随時行っております。
- ・2009年度は情報の受発信を重点目標として取り組みます。

平成20年度（2008年4月～2009年3月）収支計算書

収入の部

科目	決算額	内訳
施設利用料金	2,893,790	会議室・ロッカー・印刷機・コピー機・私用電話
指定管理料	17,103,500	
事業収入	189,500	自主事業収入
負担金	177,691	管理運営団体本会計より
収入合計	20,364,481	

支出の部

科目	決算額	内訳	
運営管理費	運営管理人件費	1,448,169	常勤1名（手当・法定福利費用・交通費含む）
	管理事務経費	213,460	事務消耗品・研修実費等
運営管理費計	1,661,629		
館内管理費	館内管理人件費	8,954,086	常勤3名・アルバイト4名（法定福利費用・交通費含む） ボランティア（交通費）
	賃借料	2,294,022	印刷機（2台）・コピー機（2台）・PC（6台）・プリンター（2台）
	印刷機等貸出機材経費	1,314,443	インク・トナー・マスター・消耗品
	清掃委託費	658,805	清掃委託料
	備品修繕費	185,549	館内設備の軽微な維持修繕費用
	福利厚生費	120,806	福利厚生費・保険料
	事務費	83,185	会議費・通信交通費・消耗品・職員研修費・雑費
管理費小計	13,610,896		
事業費	事業担当人件費	3,490,815	常勤1名アルバイト3名（法定福利費用・交通費含む）ボランティア（交通費）
	(1)情報関連事業費	427,834	活動コーナー・団体情報広報費 サーバレンタル料・図書費・事業交通費・関連データ整備費用
	(2)活動団体コンサルティング事業	186,592	講座の開催・交流会等講師料・専門的相談コンサル料
	(3)コーディネート事業費	356,370	NPOフェア・NPOサロン・ボランティア体験事業・人材バンク他 研修費・アドバイザー料・関連データ整備費用
	(4)調査研究費	16,076	通信交通費・研修派遣費・関連データ整備費用
	事務費	138,269	会議費・消耗品・通信交通費・雑費
事業費小計	4,615,956		
小計	19,888,481		
消費税	476,000	消費税引当金（簡易課税算出金額）	
合計	20,364,481		

## 別添参考資料

### 管理運営事業報告資料目次

- ( 1 ) 施設利用者資料
  - ア．利用件数・人数
  - イ．会議室利用状況
  - ウ．ロッカーの貸出
  - エ．印刷機利用状況
  
- ( 2 ) 情報関連業務資料
  - ア．ホームページの作成・管理状況
  - イ．メールマガジンの編集・発信状況
  - ウ．登録団体・個人のデータベース
  - エ．市民活動コーナー配架データ
  - オ．市外市民活動団体・機関が発行する情報紙等及び支援情報資料
  - カ．市民活動に関する図書、研究誌等の収集、管理及び貸出
  
- ( 3 ) 学習機会及び市民活動団体交流機会資料
  - ア．市民活動に関する学習機会の開催
  - イ．市民活動団体の交流機会の開催
  
- ( 4 ) 各種相談及び人材の育成に関する業務資料
  - ア．NPO 見本市 in 深沢高校
  
- ( 5 ) 調査研究業務
  - ア．「高校生のボランティア意識調査」
  
- ( 6 ) 発行物
  - ア．ニュースレター
  - イ．情報クリップ
  - ウ．NPOカフェ（タウンニュース掲載）